

3月29日(金)発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内



アフリカの 青い空の下に生きて

徳永 瑞子 著

読売新聞の「読売女性ヒューマン・ドキュメンタリー大賞」を受賞した経歴をもつ著者は、中央アフリカ共和国で長年にわたり、HIV感染者やエイズ患者の治療と生活支援に献身してきた看護師・助産師である。本書は、第一線を退いた著者が現地出会った忘れ得ぬ人びととのなつかしい日々の思い出を綴ったエッセイである。

アフリカの大自然に生きる人びとは、自然災害や内戦、貧困に苦しみながらも、生きることに対する力強いエネルギーに満ちあふれている。そんな人びととの出会いを通して著者は思う。「これからはアフリカの時代がやってくる」と。

著者略歴

徳永 瑞子（とくなが みずこ）

看護師・助産師

1948年 福岡県生まれ。

1971年 コンゴ民主共和国で医療活動をしたのがアフリカでの活動のきっかけとなる。

1993年～2022年3月

中央アフリカ共和国でエイズ患者支援活動を行う。

著書

『エチオピア日記』（海声社）、『プサマカシ』（読売新聞 1990年第11回読売女性ヒューマン・ドキュメンタリー大賞受賞）（テレビドラマ化）、『ザンベ！』『シンガラミンギ』『サバンナの風に魅せられて—アフリカのエイズ患者と歩んだ30年—』（サンパウロ）、『これは本当のアフリカのお話です』『アフリカで老いを生きる』（青海社）、『アフリカの詩』『国際看護学』共編著、詩集『アフリカの大地』、詩集『アフリカの風』（クオリティケア）、写真集『私のアフリカ—見て触れて感じたアフリカ』（自費出版）。

• B6 • 244頁 • 並製 • 定価 1,870円（本体 1,700+税） • ISBN978-4-8056-0072-6 C0016